

公明党 横浜市会ニュース

第60号

民衆の声
ボイス

VOICEよこはま

公明党横浜市会議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL 671-3023 FAX 681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com

震災に備え、老朽化する都市インフラの危険要因を把握して、防災・減災対策に生かす取り組みが重要との観点から、公明党横浜市会議員団は本年8月、市長に「事前防災・減災の推進を求める要望書」を提出しました。



地中空洞探査車両を視察(6月2日)

その結果、林文子市長から、3年間で全ての緊急輸送路380kmの空洞化調査を行うほか、病院、消防署、警察署、地域防災拠点、港湾施設など災害時に重要な役割を果たす拠点と緊急輸送路をつなぐ道路の調査を始めること、空洞が発見された場合は、速やかに補修などの対応を行った旨の答弁がありました。

その後、平成24年第3回定例会において、路面下の空洞化対策、重要橋りょう・歩道橋の地震対策等について質問。

横浜港の235ある岸壁や護岸といつた主な港湾施設のうち、建造後50年以上経過しているものは現在48施設、20年後の2032年時点では半数近く115施設に上ります。

横浜港の港湾施設を調査



代表受賞する和田(旭区)・斎藤(保土ヶ谷区)両議員(右から)

ヨコハマ・リフレッシュ計画 都市インフラの総点検で進む!



港湾施設を視察(8月9日)

公明党横浜市会議員団

第7回 マニフェスト大賞“優秀成果賞”と“審査委員会特別賞”を受賞

「横浜市市民協働条例」の制定を推進した公明党横浜市会議員団が、11月2日第7回マニフェスト大賞・優秀成果賞と審査委員会特別賞を受賞しました。マニフェスト大賞とは、これまで注目を集めることの少なかった地方自治体の首長、議会、議員等の活動を審査して（北川正恭審査委員長）地道な活動を積む人々に名誉を与え、さらなる政策提言意欲の向上につながることを期待して設けられたものです。今回は過去最高となる総計1376団体1889件の応募があり、地方議会部門15団体8名、首長部門5名、市民等部門9団体1名が受賞しました。

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

公明党横浜市会議員団は、「震災時の医薬品の供給は重要なことであり、官民一体で市民の命を守る体制づくりに全力で取り組むべき」との考え方から、医療用医薬品等の物流拠点を訪問し、協定締結を推進してきました。



医薬品用物流拠点を視察(8月27日)

横浜市では、市立小中学校の中から453カ所を地域防災拠点に指定しています。しかし、飲料水としての災害用地下給水タンクや緊急給水栓が設置されていない172カ所では、近隣施設の地下タンクや給水栓を利用するしかない不便な状況でした。

そのため172カ所の小中学校に設置されている受水槽や屋上の高置槽を活用し、さらに防災訓練に学校受水槽等からの応急給水訓練の実施を盛り込むよう提案しました。今後各区での展開が検討されます。

横浜市では、市立小中学校の中から453カ所を地域防災拠点に指定しています。しかし、飲料水としての災害用地下給水タンクや緊急給水栓が設置されていない172カ所では、近隣施設の地下タンクや給水栓を利用するしかない不便な状況でした。



三ツ境小学校での訓練(10月20日)

災害時の飲料水を確保

横浜市では、市立小中学校の中から453カ所を地域防災拠点に指定しています。しかし、飲料水としての災害用地下給水タンクや緊急給水栓が設置されていない172カ所では、近隣施設の地下タンクや給水栓を利用するしかない不便な状況でした。

そのため172カ所の小中学校に設置されている受水槽や屋上の高置槽を活用し、さらに防災訓練に学校受水槽等からの応急給水訓練の実施を盛り込むよう提案しました。今後各区での展開が検討されます。

横浜市では、市立小中学校の中から453カ所を地域防災拠点に指定しています。しかし、飲料水としての災害用地下給水タンクや緊急給水栓が設置されていない172カ所では、近隣施設の地下タンクや給水栓を利用するしかない不便な状況でした。

5政令指定都市でも防災・減災ニユーディールを議論

大都市共通の政策課題を議論する公明党の「五大市政研究会」(横浜・名古屋・京都・大阪・神戸)でも、各都市の取り組み状況について報告し合いました。

市内緊急輸送路の空洞調査を市長に提案した横浜市の取り組みや、公共土木施設を長寿命化することで、今後50年の整備費をおおよそ半減できるとする名古屋市の予防保全計画の実例などが注目を集めました。また、レベニューバンド民間企業の活力を生かした財源調達についても議論しました。

平成25年度 予算要望書を提出

10月30日、平成25年度予算編成に対する要望書を林文子横浜市長に提出しました。

公明党が掲げる「防災・減災ニユーディール」が、横浜市においても安全安心の街づくりと新たな発展をリードし、政策となるとの認識を基調に、災害時に市民を守る具体的な防災施策や、子ども・子育て関連3法に基づく横浜版子ども・子育てモデル事業の早期設置、中学校昼食の充実、高齢者の孤立を防ぐモデル事業の全市展開等、259項目にわたり要望しました。

横浜市は、人口減少社会を迎える横浜市の大好きな課題であり、建築局・消防局・区役所が協力して実態を把握するとともに利活用策についても検討していくと答弁しました。



林文子市長に要望書を提出する公明党横浜市会議員団

平成23年度決算特別委員会の論戦から

総合審査

『いのちを守る施策の充実を』



加藤 広人（磯子区選出）

東日本大震災で得られた教訓を市防災に生かすためにも、まず港湾施設、下水道施設の老朽化対策を着実に進めることが、減災とともに横浜経済の活性化につながると訴えました。

その上で、災害時医療体制の課題に対処するため、横浜市全体を統制する「医療調整チーム」を、各区には「災害医療連絡会議」の設置を、また、一人暮らしの高齢者等が利用する「ふれあい収集」を新たな防災計画で安否確認の方法として位置付けることを提案。

さらに、子どもの安全を守る観点から、市立小中学校の児童・生徒にヘルメットを支給するよう要望。これに対し市長は、財源の問題があるが生命を守る観点から議論を進めたいと答弁しました。

局長は、アレルギー対策庁内連絡会議を通じ、こども青少年局・健康福祉局・区役所と連携し、啓発活動を進め、専門医・看護師の確保を図りたいと答弁しました。

病院経営局「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

公明党横浜市会議員団は、「震災時の医薬品の供給は重要なことであり、官民一体で市民の命を守る体制づくりに全力で取り組むべき」との考え方から、医療用医薬品等の物流拠点を訪問し、協定締結を推進してきました。

文化観光局「ともに成長する第5回アフリカ開発会議



斎藤 真一（都筑区選出）

横浜に定着させ、市の活性化に活かすべきと主張しました。副市長は、国際的視野を持つた青少年の育成や、成長著しいアフリカ諸国との経済交流、女性の活躍と地位向上を図る機会としたいと答弁しました。

健康福祉局「脳卒中救急の治療実績公表の今後」



源波 正保（泉区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」



尾崎 太（鶴見区選出）

横浜市は10月3日、医薬品卸5社と災害時の医薬品供給に関する協定を締結しました。薬は水や食料とともに災害時の必需品であり、市民に必要な医薬品を確実に届ける体制整備が急がれています。

市役所「アレルギー啓発活動の充実を」





公明党横浜市会議員団
副幹事長

高橋 正治

いての質問に対し、市長
進めるとともに、交通安全
全の知識を正しく理解
するための啓発機会の
拡充を図り、より効果
的に安全対策を進めら
れるようスクールゾー
ン対策協議会の運営方
法などの見直しを行う
と答弁しました。

「いじめ防止や通学路の安全対策の推進を」

市長は、市民利用施設の耐震化や津波対策を一刻も早く進めるため、今年度から4年間に必要な費用を930億円と試算している。その財源確保のため事務事業の見直し、外郭団体改革、未収債権回収の促進等に取り組んでいるが、将来にわたる市民の安全安心を確保するため、さらに一定の負担をお願いすることを理解頂きました。

東日本大震災を受け、緊急的な防災対策を進めるための財源を国の特例法に基づき平成26年度から10年間「個人市民税の均等割の500円引き上げ」と「個人市民税の退職所得10%の税額控除廃止」に求めてることについて、「市民生活の厳しさを理解し、更なる行政改

「市民税条例改正に行政の内部努力求め」

平成24年 第3回定例会の論戦から

人に優しい政策が実現、スタートしました！



**■24時間対応の訪問介護・看護
サービス**



10月から通院にかかる児医療費無料化の対象年齢が就学前から小学1年生までに拡大されました。公明党は、平成4年に横浜市会で初めて無料化を主張して以来、一貫して拡充に努力してきました。今後も、所得制限の撤廃とともに小学6年生までの拡大を目指します。

無料の歯科健診を開始。母子手帳と一緒に無料受診券が交付され、市内950力所の歯科診療所で予約の後、受診することができます。

サービスが10月から始まりました。

現在、各区に一力所すつ市が指定した事業者が同サービスを手がけています。が、平成26年度までに倍増する予定です。

障害者虐待防止センターを開設

10月から障害者虐待防止法が施行され、併せて通報・届け出窓口が開設されました。

精神保健福祉士や社会福祉士などの専門職が24時間365日対応します。通報や届出の内容から、虐待が疑われるケースについては、健康福祉局や各区福祉保健センター等が連携しながら障害者の保護・自立の支援等に向け対応していきます。

■犯罪被害者への相談窓口を設置

(平日9~17時受付)

市民
相談

お気軽に何でも
ご相談下さい

横浜市会議員（緑区選出） **高橋まさは**

電話：929-5305 FAX：931-8798
<http://www.masaharu.info/>
〒226-0011 横浜市緑区中山町 320-5

